



今年の冬はインフルエンザの流行が例年よりも早く、その他感染症も流行っています。十分な睡眠と食事、運動で体調を整えましょう。

2023年12月27日 発行

11月の利用状況 利用者数 20名

溶連菌感染症

1～2日で小さな赤い発しんが全身に広がり、舌にいちごのようなブツブツができることがあります。嘔吐などの消化器症状が起こることもあります。自然に症状がおさまることもありますが、無治療あるいは不十分な治療（中途半端で薬を止めるなど）では回復後、心臓や腎臓に合併症を起こすこともあります。適切な抗菌薬を内服することで24時間以内に感染力がなくなるといわれていますが、再発や合併症を予防する上からも指示された分をしっかりと飲み切りましょう。

《お家でできること》

- のどの痛みが強ければ刺激の少ない食事にしましょう（ほけんだより8月号参照）
- 処方された抗菌薬を忘れずに、確実に内服しましょう



アデノウイルス感染症

アデノウイルスには複数の種類があり、毎年あるいは1年に複数回感染することがあります。潜伏期は5～6日ですが感染しても発症せずに感染が終わることも多いといわれています。アデノウイルスが原因で起こるものとして有名なものに「咽頭結膜炎（プール熱）」があげられます。**※プールに入水しなくても発症します。**5日程続く発熱や喉の痛み、目の赤み、目やに、涙が出るなどが特徴的な症状です。他にも「流行性結膜炎」や「感染性胃腸炎」も起こす原因となります。

《お家でできること》

- のどに痛みがあると脱水症状になることもあるので刺激の少ない飲み物を与えましょう
- 食事は熱いものや味の濃いものは避けましょう
- 感染力が強いため目やになど拭いたタオルの扱いに注意し、こまめに手洗いを行いましょう

今年1年病児保育をご利用ご理解いただき、ありがとうございました。
今年立ち上げ1年目で、私たち職員も試行錯誤し、悩み、考えながら運営して参りました。今後もご利用される皆様が安心してお子様を預けられるように精進いたします。来年もよろしくお願いいたします！

